



5月29日（金） 避難訓練(地震)

本校は、宮崎市中央西区の指定避難所に指定されており、地震がおこった際は、全校生徒と共に、地域の方々も一緒に屋上に避難する場合があります。そのため、これまでは、全校生徒が南校舎屋上に避難していましたが、本年度からは、南校舎屋上と体育館アリーナに分かれて避難することに変更になりました。変更の理由は、南校舎屋上に全校生徒が避難する場合、避難完了までに15分弱の時間がかかってしまうため、地域の方々も避難する状況を考えて、さらに時間がかかってしまう恐れがあるからです。地震発生から本校までの津波到達予想時間は18分と予想されています。本校の海拔は7.6mで、南校舎屋上の高さは8.5m、体育館アリーナのギャラリーの高さは、11.5mとなっているため、どちらも避難には十分の高さがあります。2カ所に避難場所を分散させることで、避難完了までの時間短縮を図ります。

今回初めて、二次避難場所を2カ所にした避難訓練を行いました。一次避難場所であるグラウンドまでの避難完了時間が4分、一次避難所から二次避難所までの避難完了時間が7分と、計11分で避難を完了させることができました。避難訓練の最後には、今回の訓練の学びを「学びのロードマップ」という、様々な行事ごとに学びを記録している用紙に記録しました。また、生徒が携帯している北斗プランナーというスケジュール帳には、御家庭で話し合って作成した、津波避難ビルカードがはさんであります。日頃から地震に対して備えを怠らず、学校以外でも命を守る行動が迅速にとれるように、今後も避難訓練だけではなく、日常的な指導を継続させていきます。



